

陸上競技選手における下腿の傷害発生と
Foot Posture Index および Functional Movement Screen の関係

順天堂大学大学院
スポーツ健康科学研究科
学籍番号： 4119042
氏名：御供 ふよか

【目的】

陸上競技選手における、Foot Posture Index (FPI-6) および Functional Movement Screen (FMS) との傷害発生の関係を明らかにすることを目的とする。

【方法】

被験者は本学陸上競技部に所属する選手 40 名（短距離 18 名、障害 13 名、跳躍 5 名、長距離 2 名、混成 1 名）であった。質問調査により、既往歴を調査し、測定項目は FPI-6、FMS を実施した。FPI-6 は 6 項目のチェック項目をもとに -12 から +12 点で評価し、FMS は 7 項目のチェック項目をもとに 21 点満点で評価した。

【結果】

被験者 40 名のうち下腿にスポーツ障害の既往のあるものは 9 名であった。

既往歴あり群は平均 15.1 点、既往歴なし群は 16.6 点であり、既往歴無し群は FMS 低値を示した。FPI-6 のスコアは既往歴の有無では有意差はみられなかった。

2020 年シーズンでハムストリングスの肉離れを受傷した選手は 9 名であり、FMS の評価項目の 1 つであるアクティブストレートレッグレイズで既往歴あり群右足 2.1 点、左足 2.2 点、既往歴なし群右足 2.5 点、左足 2.6 点と既往歴あり群が低値を示した。

【結論】

下腿から足部にかけてスポーツ障害の既往歴のある陸上競技選手は FMS の合計スコアが低値を示し、FMS 合計スコアが低値のものは、FPI-6 により足部の回内傾向があることが示唆された。

また、陸上競技選手には特徴的な左足からの運動連鎖があることが示唆された。